



東京都議会の第3回定例会(9月21日～10月18日)で都議会公明党は、防災対策や経済の再生など、直面する都政の課題に対して積極的な提案を行い、論戦をリードしました。都議会公明党の代表質問・一般質問にたいする都の回答の要旨を紹介します。なお、今定例会で私は平成21年8月に就任した都議会副議長を辞職いたしました。皆様方の御協力・ご指導に心から御礼申し上げます。

# 日本再生へ首都・東京がリード!

## 防災・福祉・景気対策に全力!!

### 避難誘導

#### 陸路寸断に備え河川の活用を検討

災害時に道路が寸断された場合、避難経路として河川の活用も重要となります。そこで都は、今まで物資の輸送拠点として位置付けてきた都内61カ所の「防災船着場」について、避難経路として活用できるよう検討します。

#### 災害時の情報提供に「ユビキタス」活用

情報端末を使って街の情報提供や移動支援を行う「ユビキタス技術」について都は、今後新たに、外国人や社会的弱者などに対して、地下街を含めた避難経路案内などができるよう検討し、防災に役立つシステムの構築につなげます。

### 医療

#### ドクターヘリの相互応援を万全に

東京で災害が起きた場合に、他県から応援で派遣されたドクターヘリによる人命救助が円滑に行えるように、都は今後、都内に集結する際の拠点、活動区域、指揮命令系統などについて、具体的な運用計画を検討します。

#### 緊急被ばく医療体制の整備進めよ

放射能に対する都民の不安を払拭するため、都を緊急被ばく医療体制の対象外とする国に対して、都も含めて整備を計るよう提案要求するとともに、治療が必要な場合に備え、都独自に医療機関との連携に努めます。

### 地震・津波対策

#### 水門、排水機場、防潮堤の強化へ

水門や排水機場、防潮堤、23区東部低地帯の水再生センターなどの耐震性や耐水性の強化について都は、技術検討委員会の中で検討を進め、同委員会の提言を受けて年度内を目途に都としての基本方針を取りまとめます。

### 災害時の交通規制

#### 交通規制訓練を踏まえ対策を検討

9月に行った交通規制訓練を踏まえ、警視庁は今後、時間や場所などさまざまな状況を想定した訓練を継続して行うとともに、緊急交通路を迅速に確保するための態勢整備や震災警備実施計画のきめ細かな見直しを検討していきます。

### 都議会公明党の提案が実現!!

#### 被災地応援ツアー

都内旅行者が企画する「被災地応援ツアー」の申込者に対し、1人につき1泊3,000円を旅行代金から割引いたします。但し、都内に在住、在勤、在学いずれかに該当する方で、平成23年9月～平成24年2月までに、指定する旅行者が企画または手配し、販売する旅行に限ります。

※岩手県、宮城県、福島県の3県のいずれかに1泊以上宿泊する場合に、2泊を限度に割引対象。(1泊を岩手県、宮城県、福島県のいずれかに宿泊し、もう1泊を青森県、茨城県、栃木県に宿泊する場合も可)

問い合わせ先 (公財) 東京観光財団総務課  
電話 03-5840-8890



### 消防の充実

#### あらゆる災害に備えて体制を充実

東京消防庁は今後、震災や局所的集中豪雨などのあらゆる災害に、より機動的に対応できるように、人的、組織的な体制について幅広く検討するとともに、部隊、車両、資機材などの消防活動体制の充実強化にも努めます。

#### 消防団員活動を育児・介護で制度見直し

現在、長期入院などの場合に認められている消防団員活動の一時休止について、東京消防庁は、育児や介護で一定期間活動できない場合でも一旦活動を休止し、その後希望に応じて復帰が可能となるよう見直します。

### 被災地支援

#### 肉牛の全頭検査に向け体制充実図る

放射能に汚染された稲わらを与えられた可能性のある肉牛への不安を解消するため、都は、短時間で多数の検査が可能な機器を新たに導入するなど、食肉市場での全頭検査に向けて体制の充実を図ります。また、都民への検査結果の公表についても、関係機関が連携しながら体制づくりを進めています。

### 里親支援

#### 相談事業のさらなる充実に全力

杉並区内の養育家庭の母親が、里子に対する傷害致死で逮捕された事件を受けて都は、児童相談所の支援を一層充実するとともに、現在3カ所で開催している里親への相談支援事業についても、さらなる充実を検討します。

### 都市再生・空洞化対策

#### 経済特区活用し、国際競争力の強化を

都は9月、外国企業などの誘致を目的として、国の国際戦略総合特区に申請しました。特区の取り組みを通して都は、外国企業と都内中小企業とのマッチングや新製品・新技術開発に掛かる経費の助成などを活用し、東京の国際競争力を高めて、日本の成長をリードします。なお特区の選定は12月の予定です。

#### 東京のビジネス拠点としての魅力向上へ

原発被害や景気の低迷による企業の日本離れを防ぐため、都は東京のビジネス環境としての魅力向上や発信を着実に進めるとともに、優れたものづくりの技術を持つ中小企業が東京で生産活動を続けられる環境の整備を検討します。

#### 多摩地域でのロボット技術の実用化を支援

多摩地域では現在、企業や首都大学東京などが参加する推進組織において、健康福祉の分野にロボット技術を活用した試作機の実証実験を行っています。都は今後、この技術の実用化に向けて、アドバイスや資金面などのサポートに取り組めます。

### 児童の自立支援

#### 施設入所中から退所後までサポート強化

児童養護施設などで育った児童へのアンケートで、退所後に孤独感や金銭管理で困っていることや、家族を頼れず施設職員の支えを求めていることが明らかになりました。このため都は、施設入所中から退所後に至るまでの支援の充実を検討していきます。

### 障がい者施策

#### 都立高入試でのICT機器活用を検討

障がいのある中学生が授業でICT（情報通信技術）機器などのテクノロジーを利用している場合に、都立高校の受検でも普段と同じ能力を発揮できるよう都は、入試におけるICT機器の導入を検討していきます。

### 自転車事故防止

#### 「ピスト自転車」などの事故防止策図れ

安全な自転車利用に向けて警視庁は昨年、ブレーキがない「ピスト自転車」を含め悪質な違反1438件を取り締まりました。その上で今年は、20～30代の事故が多発している実態を踏まえ、交通安全教育や指導取り締まりなどに引き続き積極的に取り組みます。

## トピックス

### 都電荒川線に花電車が!!



今年、都営交通創業100周年に。これを記念して東京都交通局は、都電荒川線に33年ぶりに花電車を運行。10月1日には、鈴木も出席して花電車の出発式が荒川営業所で盛大に行われました。花電車は三ノ輪橋から早稲田間を5日間(1日2往復の運行)の日程で運行され、沿道には大勢の地元をはじめ都電ファンが駆けつけました。最終日の30日には、鈴木も三ノ輪橋で花電車を見送り、「都電ガンバレ!」などのエールが飛び交うなど印象的な一日でした。



### 名誉都民に小野・水木さんが



今年の名誉都民を顕彰する式典が都庁で。鈴木も副議長(10月3日)として石原知事とともに出席しました。写真は、漫画家としてNHK TVの朝ドラで有名になった水木しげるさん夫妻と元オリンピック金メダリストの体操・小野喬さんらと鈴木も親しく懇談しました。

## 都立駒込病院がリニューアルオープン!!

東京都に於けるガン・感染症医療の拠点にするために大改修が行われていた都立駒込病院が、この程リニューアルオープンしました。これに先立ち鈴木も駒込病院の開院式典に出席し、佐々木院長らの案内で院内を視察しました。特に印象的だったのは、手術室の増設に加え緩和ケア病棟(22床)が設けられた事など、地域医療の拠点に相応しい事を確認しました。



写真は東京都提供